

平成30年度 特別支援教育実技研修

毎年恒例となっております、「特別支援教育実技研修」が、7月23日、本校を会場に行われました。「児童生徒の困難さを体験しよう」「タブレット講座」「摂食指導」などの内容で、7講座を開講しました。例年以上の猛暑ではありましたが、参加者は楽しく、そして真剣に受講していました。今回の研修で学んだことを、2学期以降の授業実践へ活かしていきたいと思います。

①学習に向かう力を養う動作法



- 講義内容
- (1) 動作法とは
 - (2) 演習
 - (3) 学校現場に生かすには

②走、投につなげる運動



- 講義内容
- (1) 走につなげる運動
 - (2) 投につなげる運動

③食べさせられる側の体験をしよう



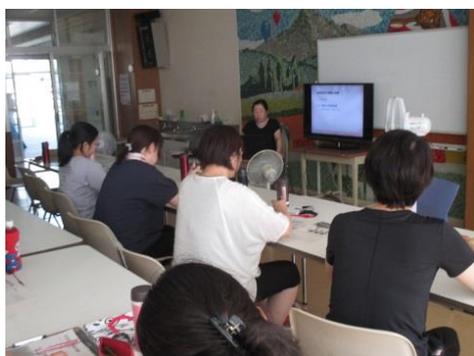
- 講義内容
- (1) 食べさせられる体験
 - (2) 望ましい方法・望ましくない方法
 - (3) 一人で行う実技

④子どもの困難さを体験し、支援を考えよう



- 講義内容
- (1) 困難さの疑似体験をもとに、児童生徒への対応を考える

⑤検査法



- 講義内容
- (1) 講義・演習

⑥タブレット講座



○講義内容 (1) 実技

⑦よりよい進路選択のために ～本校の取組を通して～



- 講義内容
- (1) 卒業後の進路について
 - (2) キャリア発達について (小～高まででやるべきこと)
 - (3) 進路を考える際に大切にしたいこと
 - (4) 授業において今の取り組み内容の確認